

生きがい

第67号

発行 平成31年1月1日
(公社)上越市シルバー人材センター
本所 上越市西城町1-12-4
Tel. 025-522-2812
頸北支所 上越市柿崎区柿崎6405
Tel. 025-536-6100
編集 広報対策部会
印刷 (有)大貫印刷所

迎春

2019



「オーマラ・西横山集落」(撮影者: 広報 関川雅夫)

年頭にあたって



理事長 井部 博光

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、平成最後の正月となりますが、お健やかに平成三十一年の初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、当センターでは、現在委員会において新たな中・長期計画の策定作業を進めておりますが、全国シルバー人材センター事業協会の「第二次会員100万人達成計画」を受けた検討となっております。

会員数の減少傾向については全国的な問題であり、これまでは六十歳から六十五歳までがセンターの大きな戦力となっていました。六十五歳までの再雇用の拡大によりなかなか増加する兆しが見えません。

この状況を打開するために当センターでは市民の要望が高く、技術が必要とされる植木剪定、冬囲いなどの作業の講習会を実施し、多くの会員から後継者となって活躍いただけるよう育成に努めております。

また、会員数の増加を図るためには、放課後児童クラブ補助員などホワイトカラー層の知識や経験を活かせる仕事を更に開拓していきたいと考えております。

さらに、女性会員の増加を図るため、リフォームソーインググループの活動など、女性会員同士が気軽に集まり、楽しく仕事ができるような場所を提供しておりますが、こうした取組をより充実していきたいと考えております。

最後に、会員とご家族の皆様のご健康を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年のびあいやつ



上越市長
村山 秀幸

新年あけましておめでとうございませう。

上越市シルバー人材センターの会員の皆様、職員の皆様にとりまして、この新たな年が、そして、間もなく迎える新しい時代が、明るく、希望に満ちた幸多きものとなりますよう心からお祈り申し上げます。

貴センターにおかれましては、関係の皆様の多大なるご尽力、ご努力のもと、多くの会員の皆様のご活躍され、高齢者福祉の増進、地域社会の活性化に大きな役割を果たされておりますことに、深く敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げます。さて、人口減少と少子高齢化の進行により、地域の労働力が急速に減少している中であって、シルバー人材センターが担う役割はますます重要となり、これからの地域づくりにおきましても、高齢者の皆様の力が欠かせないものと認識しております。長年にわたり様々な分野において、地域の発展に尽力してこられた会員の皆様の知識や技能、

そして経験は、地域を支え、豊かにする、かけがえのない「まちの力」であり、その役割は、今後ますます高まっていくものと思っております。

このような中、貴センターにおかれましては、昨年から放課後児童クラブにおいて、子ども見守り等に従事していただいているほか、高齢者等見守り支援協力事業所へ登録をいただくなど、地域や時代のニーズに対応した取組を積極的に実施され、地域福祉の様々な分野において、お力添えをいただいているところであります。

市といたしましても、まちづくりの主役である市民一人ひとりの多彩な知恵や力が発揮され、活躍できる社会を構築するため、活力ある地域の推進役を担う高齢者の活動と活躍の場の創出に取り組んでまいります。

会員の皆様におかれましては、これからも地域の推進役として、地域を支え、地域づくりにご尽力いただきながら、生涯現役で活躍され、次の世代にその知識や技術を伝えていただくことを期待しております。

結びに、上越市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

新年の抱負

年男・年女の皆さん



梅澤 静江
(灰塚)

介護の仕事始めて数年、今では自分も高齢になり、若いつもりでいたが気が付けば八十四歳猪年、まだまだ気持ちだけは元気です。シルバーで自宅や病院での介護の仕事させていただいていると、自分の健康の有難さが身に沁みます。これからも健康に気を付けながら、色々物事に興味を持ち、何事にも挑戦しながら元気で仕事をやって行きたいと思っております。



丸山 侑
(中郷区)

シルバーの仕事に就いて六年になります。同時期に上越のシニアのソフトボールチームに入り、全国大会へ三回出場しましたが、三年前、心筋梗塞で入院、その後医師からの勧めもあり、心臓バイパス手術を受けました。職場の皆さんのご協力もあり、現在は仕事にも無事に復帰出来、改めて健康のありがたみを痛感しました。今年には節目の年、新しい夢に向かって一歩ずつ頑張りたいと思っております。

振り返って

会員の皆さんの活躍を写真で振り返ってみました



チェーンソー講習
初めての開催です



マナー講習



ソーイング講習



ドライビングスクール
(派遣就業会員対象)



事業開拓部会
部長 矢嶋 威

威

あけまして

おめでとうございます

日頃は事業開拓部会の活動にご理解、ご協力を頂き、感謝申し上げます。

当部会は「元気が一番、マナーも一番」を合言葉に活動しております。

本年度の大きな活動として、事業計画にありました「商業施設でのPR活動」を昨年十月二十七日(土)に、バロー上越モール・イベントホールにて行いました。

当日は、風雨という生憎の悪天候に加え、時節柄各地で行事も多く、来客状況に一抹の不安がありました。私どもの心配をよそに、多くの方にPR活動をすることが出来ました。

PRは客の出入りの多い、スーパーマーケット入口、南口、イベントブースの三カ所に人員を配置しました。新規会員獲得が目的であったので、チラシ配布に際しては極力、シルバー世代の年齢層と思われるお客様にターゲットを絞り、配布時には丁寧な対応を心が

けました。チラシも持ちやすいサイズに折り、買い物帰りに渡すなどの工夫を施したところ、お客様の反応は良く、誰一人断られることもなく約六百人の来店者にチラシを手渡すことが出来ました。また、イベントブースでは、十人程の来客があり、七件の入会相談と三件の仕事の相談を受け、その場で一件の受注を頂きました。今回の企画は初めての試みであり、思いつく限りの事前準備は十

分行ったつもりですが、その後の反省会議では、成功体験の他、多くの改善点を見い出す結果となりました。しかしこれが今後の活動における大きな財産になると信じ、次年度も継続して実施する方針です。併せて、一会員一名紹介・一就業開拓運動も継続していきますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

事業開拓部会

商業施設で シルバーのPR活動を実施しました



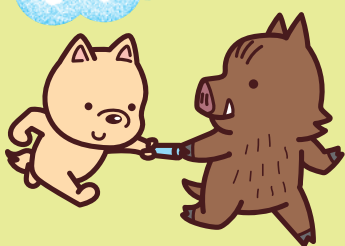
参加した皆さん

理事の皆さんも参加

「事務局だより」
第16号でも、
ご紹介しました。

2018 この1年を

活動の
ほんの一部
です。



放課後児童クラブ補助員就業



会員向け冬囲い講習



市民向け冬囲い講習
(会員が講師です)

シルバーの活動に参加しました



福祉施設ボランティア活動に参加して
西脇みどり
(中門前)

今回初めて「さくら聖母の園」でのボランティアに参加させていただきました。亡くなった母が長い間お世話になった同じ様な施設に、母の姿を求めたのかもしれませんが。施設では女性会員の皆様と大きなテーブルで清拭たみをしました。作業が進むにつれて話が花が咲き、和やかなひとときを過ごしました。一週間後の「いたくら桜園」のボランティアにも参加し、施設では歯ブラシと雑巾を使って車椅子の清掃に爽やかな汗を流しました。作業終了後お茶をいただき、施設の方からも感謝の言葉を沢山いただきました。最後に参加者全員で写真を撮りました。多くの会員の皆様と触れ合い、人との輪も広がりました。これからも都合のつく限り参加し、自分の生きがいに繋げられたら、と思っています。



事業所清掃講習に参加して
高橋 好子
(佐内町)

四月に入会させていただき、五月から事業所の清掃作業の仕事をしています。今までは、自分の家の掃除しかやったことが無く、事業所の清掃作業は初めての経験で戸惑いがあったので、二日間の講習会を受講してみようという気持ちになりました。建築物清掃の基本作業を教えていただき、実習ではトイレの清掃、掃除機のかけ方、窓ガラスの清掃を一人ずつ交代で行いました。今まで自己流で不安だったトイレ清掃がとても参考になり、今では少し自信がつき、毎回来しなく作業をしています。貴重な講習会ありがとうございました。この様な講習会に皆さんも是非参加されることをお勧めします。



第13回 就業先拝見

こんな仕事をしています



子供達と接して
高橋恵美子
(西城町二)

テレビ等で子供達に関わる報道を見聞きするたびに、私でも何か力になれる事はないかと思っていたところ、シルバー人材センターの児童クラブ補助員の募集を知り、早速応募しました。研修に出席させていただき、子供達への接し方、現在の教育方針などを勉強させてもらい、大変有意義な時間を過ごしました。

実際、就業してみると子供の動きを読むことが難しく、怪我をしないように見守ることが大変でした。体力的にも精神的にもしんどい時もあり。しかし、一緒にお話をしたり、遊んだり、笑顔を見るととても嬉しく感じました。子供は宝ですね。いつも笑顔で接する事、褒める事を忘れず就業していきたくらと思っています。



お客様の「ありがとう」の言葉を大切に
小池 保
(柿崎区)

シルバー人材センターに入会して四年、管理と剪定・冬囲いの二刀流をしています。入会当初は旅行、親睦会等でお酒も飲めるしと、気楽な気持ちでしたが、今はそんな気持ちとは違っています。昨年の冬は大雪で春先から倒木処理や剪定の依頼件数が多くなりました。件数が増えたもう一つの理由は、先輩方が加齢で退会し、その肩代わりが増えたためです。大変です！とは言っても相手はお客様、先日も常連の方から「いつやるんだね」という声がかかりました。気持ちは焦るのですが、冬囲いは天候次第、天気予報を気にしたり、シーズン中は心が休まりません。でもお客様の「待ってるよ」「ありがとう」の言葉を力にして、生きがいを持ってシルバー事業に貢献出来たらと思っています。



2018この1年…参加ありがとうございました！

シルバー会員互助会通信

★納涼会

会員互助会の納涼会を、八月七日(火)春日新田の内山料理店で開催しました。当日は、土橋副市長にご出席いただきご挨拶をいただきました。会員等七十三名が出席し、カラオケや抽選会で大いに盛り上がりました。



★親睦旅行

今年十月四日(木)・五日(金)の一泊二日で、福島県いわき湯本温泉「スパリゾートハワイアンズ」への親睦旅行となりました。



会員四十二名が参加し、到着後は温泉やフラダンスショーなどを楽しみました。



★忘年会

互助会最後の行事である年末恒例の忘年会を十二月五日(水)、内山料理店で開催しました。

当日は会員等七十三名が出席し、恒例の福引きやカラオケで盛大に盛り上がり、新たな年に向けて賑やかに歓談、新年での活躍を誓い合いました。

当日は議会中のご多忙の中、八木健康福祉部長からご出席いただき、市長のメッセージをご披露いただきました。



★清掃ボランティア活動

十月の「全国シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に合わせて十月十日(水)、シルバー主催の清掃ボランティア活動が一斉に実施されました。

昨年度同様、市内四会場(高田、柿崎区、板倉区、中郷区)で開催、四会場合計で八十四名の会員が参加しました。

今回は更に百名を超える多くの会員の皆さんの参加をお願いします。

板倉・中郷・頸北・本所の各会場の参加者の皆さんです。お疲れ様でした。



この活動はシルバーの会員として大切な取組のひとつです。

ご冥福をお祈りいたします

互助会規程に基き、亡くなられた会員へ弔慰金を支給、幹事がお届けしました。(機関紙第六十六号掲載以降に亡くなられた皆さん)

(弔慰金)

- ★故宮崎 春男様 (中郷区)
- ★故滝沢 義勝様 (中通町)
- ★故久保田喜久代様 (東城町二)
- ★故島田 孝二様 (中田原)

来年も会員の皆さんの各行事への積極的な参加をお待ちしています。
(事務局 池田勝)

事務局だより

<配分金と税金について>配分金収入に対する所得税法上の取り扱いについて

会員の皆様を受ける配分金は、所得税法上「雑所得」とされ、受け取った配分金収入は期間内(2月16日～3月15日)に確定申告をする必要があります。

配分金収入に対しては、「**家内労働者等の事業所等の所得計算の特例・租税特別措置法第27条**」より、65万円を上限として最低保証必要経費が認められます。

なお、配分金収入と給与所得(シルバー派遣による賃金)がある場合は、65万円から給与所得控除額を控除した残額が配分金に係る必要経費となります。

また、公的年金を受給している場合は、配分金収入とは別に公的年金等の控除が受けられます。

【計算例示】 ※会員A(66歳)の年間収入は次のとおりでした。

- ① 配分金収入 70万円
- ② 給与収入 50万円(シルバー派遣による賃金)
- ③ 公的年金収入 130万円

計算方法 (1) 配分金収入及び給与収入に係る計算

- ・給与収入(50万円) - 給与所得控除額(50万円) = 0円 (A)
- ・配分金収入(70万円) - 必要経費(65万円 - 50万円) = 55万円 (B)

(2) 公的年金に係る計算

- ・公的年金収入(130万円) - 公的年金等控除額(120万円) = 10万円 (C)

※公的年金等控除額は、受給者が65歳未満と65歳以上が異なります。

(A) + (B) + (C) = 0円 + 55万円 + 10万円 = 65万円

- ・所得金額(65万円) - 基礎控除(38万円) = 27万円

- ・課税所得金額(27万円) × 税率(5%) × 復興特別所得税(10.21%)

= 13,700円(100円未満切捨て) … 税額

◆配分金収入、給与収入、公的年金収入以外の収入がある場合の所得金額及びその他の控除額については、**高田税務署(電話523-4173)**へおたずねください。

*平成30年分 配分金支払証明書は平成31年1月25日までにお手元に届きます

会員数	
(2019.1.1現在)	
男	822名
女	293名
合計	1,115名
本所	882名
頸北支所	233名

冬のスケッチ

オシドリ

ペンギン

<撮影>
広報対策委員
関川 雅夫

地域懇談会の開催について
事務局からの現状報告や、会員の皆さんからシルバー事業の運営や互助会活動に対して直接声をお聞きする地域懇談会を、今年度も**二月十三日(水)**から八つの会場で開催する予定です。
地域懇談会は、大切な情報交換の場であり、懇談会への出席は会員として大切な活動のひとつです。日程については地域班長を通じて案内文書でお知らせしますので、都合をつけて是非ご出席下さい。

職員の辞職について

十二月末日付で内山副参事が、一身上の都合で退職しました。頸北支所時代から通算して二十四年の長期にわたりシルバーの発展にご尽力いただきました。



退職にあたって
副参事 内山 洋子

この度、十二月末をもちまして退職いたしました。本所・支所の勤務を通じて皆様方に大変お世話になりました。ありがとうございます。

あともがき

昭和、平成と共に歩んだ七十年。二つの時代に足跡を残し、そして今再び歴史の節目に立ち会えることに大きな喜びと深い感動を覚える。

新しくスタートする時代に、小さくてもいい 夢と希望をもって、さあ一元気に出発しよう!

(広報対策委員 平山一男)